

寺島メソッドで英語検定1次試験合格者倍増

佐々木 忠夫

(宮城県小牛田農林高等学校)

1. はじめに

勤務校は農業技術科2クラス、総合学科3クラスの学校である。

総合学科は地区の進学校に入れず、またはそこまで勉強したくないと思っている生徒が多い。

農業技術科はさらに科学コース1クラス、土木コース1クラスに分かれている。そして、学力的には総合学科に比べれば英語学力は低い。

全体として、中学校時代は英語を不得意とし、英語の授業や英語学習から逃避している生徒が多い。そのような生徒が年々増加している。

英語学習の動機付けとして、英語検定を1年総合学科、2年生総合学科、農業技術科で全員受験をしている。しかし、近年合格者が減ってきている。折角、全員受験をしているのでできるだけ合格者を出したいと思う。

そのために、寺島メソッドで教材を作り替え、繰り返し学習することで合格に結びつけたいと思っていた。それは英語の苦手な生徒でも学習を続けられるからである。学習で大事なことは諦めずに続けることである。そのために寺島メソッドはうってつけである。

2. 寺島メソッドで編集したドリルを使って

(1) 「英検分野別10分ドリル」(旺文社)

旺文社の「英検分野別10分ドリル」に対し、難しい単語には意味を語句につけ、従属節と前置詞句や準動詞句に[]をつけ、述語動詞に○をつけてプリント教材に編集した。

(2) ドリルを10ラウンドやろう！

そのドリル問題を第3回考査終了後からはじめて、第3回英語検定の前日まで10回繰り返すことを目標とした。そのやり方は、①5秒考えてもわからない問題は飛ばす。②プリント1枚が終わったら自己採点をして、解説をしっかりと読む。これだけなのである。もし、わからない問題が10個あっても、飛ばせばいいわけである。

(3) 英作文は解答を見てから、答えを書こう

英語検定は新試験となってからライティングがあり、英作文とは違う。

それは文章構成がきちんとできていることが求められる。

それを身につけるには解答を見てから、一部の語句を入れ替えて自分なりの解答を作ることがよい。

(4) リスニングはスクリプトを音読してから

リスニングはスクリプトを音読してから行う。自分が音読できないものは聞き取れない。音読をしてからすることで、リスニングに対する恐怖感・苦手感が大幅に減る。

(5) 毎回の授業で20分は取り組む

毎回の授業では、教科書を30分、英検ドリルを20分で毎授業取り組むことで、英語の苦手な生徒も少しずつやることができる。最初は家庭ですることはほとんどないのだが、だんだん自宅学習でもできるようになる。

3. 準2級合格率が11%から40%へ、3級は30%から60%へ

先日、英検の1次の結果が届いた。昨年と比べると合格率が飛躍的に伸びていた。

2級はそれほど大きな変化は見られなかった。しかし、寺島メソッドを使って学習を行った2年総合学科の成績は、準2級と3級では合格率が2倍から約4倍に跳ね上がった。

総合学科3クラスのうち、私が担当している2年3組の準2級の合格率は60%に達している。学科全体で40%の合格率である

特にこのクラスは3クラスの中でも英語が苦手な生徒が多いクラスであることを考えると、特筆すべき結果だろう。

また、得点においてもリーディング、リスニング、ライティングのどの分野でも前年度2年総合学科より得点が伸びており、トータルで6.42ポイント上昇している。

4. まとめ

2ヶ月間の取り組みであり、授業の学習による影響もきちんと考察できないが、寺島メソッドによる英検学習の成果は大きいと思わざるを得ない。

寺島メソッドと語句の意味を入れたプリントであれば、何度繰り返すことができる。それによって語彙の強化と構文を読み取る力が自然と身についてくる。それが英検合格の力になるのではないか。

単語帳を使って語彙力をつけるよりストレスなく語彙力がつく。そのため、英語が苦手な生徒にとっては取り組みやすいのだろう。

しかし、さらに合格率を上げるには、この教材だけでは足りない。同じ問題を10回もやれば、後半では問題を見なくても答えがわかってしまう。同じ問題は5回程度にとどめ、その後は別な問題をする必要がある。

また、級が上がればさらに足りないことは事実で、2級合格率が上がらなかった原因はそこにあるだろう。さらに、上級級は英文量も多くなるため、多読も必要だろう。

来年度に向けて、新たなドリル問題を作ることと、多読教材を開発することが必要となろう。

<追記>

その後 2次試験の結果が届いた。その中で特筆すべきは2年生の農業技術科で2級合格者が出たことである。

得点としてはリーディングとアティチュードが満点で、O&Aが25点満点中23点である。Q&Aの部分で2点足りなかつただけである。合格者がメールで次のように書いてきた。

リズム読みのおかげで英語のリズムが身に付きました。far away など自然に発音をくっつけるようになり、リスニングでも聞き取りやすくなりました。

また英語を音色に合わせやすくなり、前は難しかった曲も簡単に歌えるようになりました。英検2次面接のスピーキングも、自然に正しいリズムで話せたおかげで満点を取れたのだと思います。

中学から主語に○、動詞に下線を付けたり、which や whose を「何かと言うと」「誰かと言うと」と訳したりしていました。高校で「魔法の英語」の記号付けや訳し方を更に詳しく学び、早くから知っていた良かったと思いました。

英検は後ろにどんどん情報が加えられて、長く複雑な文章が多かったです。「魔法の英語」の考え方で、素早く冷静に文の内容を理解することができました。

リスニングも会話が早く付いて行くのが大変でしたが、普段から前→後ろの順に訳していたおかげで、なんとか理解できました。

普段の授業でも寺島メソッドを使って授業をしている。合格者の話の中に出てくる「リズム読み」もそのひとつである。

また、授業の中で、英問英答をする上でも、寺島メソッドの記号を使うことで、英語で応答する場合もきちんとした文の形で答えられるようになるのだ。

さらに、「立ち止まり訳」（フレーズ訳を寺島メソッドではこのように言う）と「足し算訳」を行うことで、英文を前から意味を捉えることができるので、リスニングの力もつく。

上記の生徒は、そのような普段の授業が英語検定2次合格の力になったということを言っている。

<資料 1 >

第 1 回

次の(1)から(10)までの()に入れるのに最も適切なものを1, 2, 3, 4の中から1つ選びなさい。

(1) Last night, Susan and her parents () [what she should do [after she finishes school]. Susan said [that she wants [to go to college and study history]].
1 advanced ^{前進した} 2 discussed ^{議論した} 3 demanded ^{要求した} 4 allowed ^{許可した}

(2) A : What shall we buy Janet [for her birthday]?
B : Well, she loves (). Let's get her a necklace.
1 discovery ^{発見} 2 jewelry 3 ability ^{能力} 4 geography ^{地理}

(3) A : Where do you come from?
B : Well, I have lived [in Britain] [for a long time], but () I come [from France]. I was born [in Paris].
1 originally ^{もともと} 2 typically ^{典型的に} 3 generally ^{一般的に} 4 extremely ^{極めて}

(4) A : Did you hear [about Peter]? He () the school soccer team.
B : I know. He is too busy studying, so he can't play soccer nowadays.
1 quit ^{やめた} 2 fed ^{食べ物を与えた} 3 hung ^{つるした} 4 stole ^{盗んだ}

<資料 2 >

Lesson 5

疑問文への答え方

- (1) 疑問文の基本形 疑問詞 + 助動詞 + 主語 + 動詞 + ~?
- (2) 答えの文の基本形 主語 + 助動詞 動詞 + 答えの中心部分 + ~.
- (3) 主語を代名詞に
- (4) 主語の後に「助動詞+動詞」のように1つの○に
ただし、do/does/did は消える。
do のときはそのまま消える。
does が消えるときは-(e)s が動詞につく。
did が消えるときは動詞が過去形になる。
- (5) その後ろに「答えの中心部分」
疑問文についているそれ以外の語句はその後に来る。
ただし、名詞は代名詞に変えることが基本となる。
- (6) 「答えの中心部分」以外はできるだけ代名詞に

単数	複数
I	We
You	You
He	They
She	
It	

^{答えよ} (Answer) ^{次の} the following questions [in English].

Part 1

(1) [^中In *Fantastic Voyage*], who (did) a team [^のof doctors] (save) ^{救う}?

.....

(2) [^中In *Fantastic Voyage*], what (did) the doctors (need) ^{必要だ} [to (do)]?
.....